		13	_	5 事	务事業	名	放置自動	動車対策	事業	細事	務事	業名	放置自動	車対	 策事業		公的関	与 2		ート作			² 成314	年6月	13日	
٥	課名		危機管理課				<mark>グル</mark>	<mark>グループ</mark> 交通防						伊藤 淳人			シート作成者名			名	岡田 正光					
	車:	業区	八	● 1ン	/フト事	業		0 3	整備	事業	0	5 旅	設の管理	里運	営	車 泰元	型営方法	_	1 直	営			3 全i	部委	託	
	→ :	未凸	ח	〇 2 旅)建設 ○ 4 経常的			経常的	的事務事業						争未见	里吕刀汉		2 -	部委割	部委託 □		4 補	助等			
				政策目標 2 快適で安全・安心な					やとみ 実施計画						事業の開始・終了											
	総	合計画		施策項目		防犯・交通安全の充実						○ 1 該当				年度 ~ 平成								なし		
				主要施策 交通安全に関する啓発					等の推進			● 2 非該当			+FI +hn	::										
	個別計画		画										根拠法令等													
		事業の 目的		対象(誰を・何を)								意図(どういう状態にしたいのか)														
				路上放置自動車市道などの交通の妨げとなる放置自動車を撤去し、良好な交通環境										環境を研	雀保し:	ます。										
PLAN	事業の 内容			路上放置ついては	路上放置自動車に警告書を貼り付け、警察署と協議を行い、所有者の特定できたものについては、移動するよう指導を行います。所有者の特定できないものに ついては、廃棄物認定等の手順により放置自動車処理をします。																					
				指標名	放置	自動	車数								指標名											
	成 果 指 標	成果指標	0	指標設 定の考 え方	路上加	放置目	自動車数	汝				単位	台		指標設 定の考 え方									単 位		
			1	平成	29 年	∓度	平成	30 年	度	平成 ※ 年度	目標	平成	30 年度	2	平成	29 年度	平	成 30	年度	平	成	※ 年度	目標平	' 成	30 年度	
			崇		実	1		実	0						1	実		実								
				績	1		績		目	*	目		0		績	績			 標		2	*	目標			
				目標			目標	* 標		₩			U		目標		目標	*			*		標			
	子,	算費	В	会 計			IN	一般会	: 		款	2	総務費		12K	百 1	総務管	押書			7	13 交通	安全∜	计生态	歩	
	Jr -	开具	Н	Д <u>П</u>				平成	29	年度決算額	办人	2		平成	30	年度決		在只		平	_	× ×	年度			
	#			国·県支出		見支出金	,			1 /2		千万八升版	9			1 /20	- 00	11211	千円				200	7.1	1 /2	
	直 接			地方債						千円							千円							千円		
	事			の他特定財源		千円								千円									千円			
D	業費			一般財源						33 ∓ F					0 千円								千円			
0				計(A)							33 千円					0 千円									千円	
		<u> </u>							0.050 人					0.050 人									 			
			正墹	員工数·	経費					345 千F	9						千円								千円	
	(E	3)	臨時	職員工数	·経費		0.100	人		160 千F			0.100	人			千円			ر	T				<u> </u>	
	全体		体事業費(A+B)		3)					538 千F			-				千円								千円	

			チェック項目			一次	評価	一次評価の説明			二次評価			
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	С	はい	١	● いいえ	放置自転車対策は 妨げとなり、良好な	交通環境を確	0	はい	● いいえ		
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	С	はし	`	● いいえ	保し、安全な生活球 るため必要です。	環境を保持す	0	はい	● いいえ		
	必要性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	С	はし	١	● いいえ	るにめ必安です。		0	はい	● いいえ		
		4.	住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較して ニーズを上回るサービスとなっている。	С	はい	١	● いいえ			0	はい	● いいえ		
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	С	はい	١	● いいえ	道路より放置自転 動指導、撤去を行し		0	はい	● いいえ		
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	С	はい	١	● いいえ	通環境を確保し、通 理にもつながってい	頭正な道路管	0	はい	● いいえ		
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	С	はし	١	● いいえ	壁にも)ながらてい	`みり。	0	はい	● いいえ		
HE		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	С	はし	١	● いいえ			0	はい	● いいえ		
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っている。	0	目相	票に比	べて劣っている	放置自転車は減少 が、すべてはなくな	0	○ 目標に比べて劣っている				
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。	0	あま	り上が	っていない	現状です。	らないことが、	0	あまり上がっていない			
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成している。	•	概ね	達成	している			•	概ね達成している			
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成している。	0	十分	}達成	している				一十分達成している			
	効率性	1.	効果に比べてコストが高い。	С	はし	١	● いいえ	撤去の手続きは、・ のもとで処理を進め		0	はい	● いいえ		
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	С	はし	١	● いいえ	ない経費で実施して		0	はい	● いいえ		
		3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	С	はし	١	● いいえ			0	はい	● いいえ		
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	С	はし	1	● いいえ			0	はい	● いいえ		
			一次評価						次評価					
		西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合 4 4 3 4		肾価		必要性	自効性 達成原 4 3	度 効率 l	生 糸		総合評価 A		
		きの しんしゅう		A 		○4 拡大·充実		<mark>4 </mark>		É		 引委託等		
		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止					統合/終期設定	○ 廃止/休	_	O POIL	-15401		
	73.						11111	二次評価での指摘			意見)			
ACTION		即り	が置自転車は減少していますが、自動車販売事業者等が付近の道路に路上駐車											
N		解決めの計画	放置自転車の撲滅とともに、路上駐車の迷惑駐車について、警察署とり、防止の啓発活動や指導を強化します。	連携を	€取	す。	9 。							
	備	考		_										